



我孫子オーディオファンクラブ (AAFC)  
分科会へのご案内 (会員による自主講座)

第3回

ジョコンダ・デ・ヴィート (1907-1994) 全3回

その1 バロック音楽

〈略歴〉

ジョコンダ・デ・ヴィートは1907年北イタリアのブドー園主の娘として生まれ、幼少期よりヴァイオリン弾きの天才ぶりを発揮、あらゆる賞を総なめにし14歳でパリ音楽院を卒業。

その後25歳でウィーン国際ヴァイオリン・コンクールで優勝したものの、教職に就く等、演奏活動はあまりしていない。

1942年35歳、満を持してローマでデビュー、一躍イタリアヴァイオリン界の女王としてまた遅咲きの名花として楽壇の寵児となる。

デ・ヴィートの録音は主として、夫となるビッグネルとの縁で、1948年(41歳)から英EMIで始められたが、1962年(55歳)絶頂期に突然引退してしまった。

その為、録音はそれ程多くはない。

エドウィン・フィシャー(p)、ユーディ・メニューイン(vn)、フルトヴェングラー、クーベリック等巨匠との共演が目立つ。また録音はバロック音楽の比重が高いため、今回はバロック音楽のみを聴いて頂きます。

次回は古典派音楽、次々回はロマン派音楽を採りあげる予定です。

演奏予定

バッハ： 無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 第2番から「シャコンヌ」  
ヴァイオリン協奏曲 第2番 ホ長調

ヘンデル： ヴァイオリン・ソナタ 第4番 ニ長調  
トリオ・ソナタ ト短調

ヴァイオリンと通奏低音の為のソナタ op.4-1

パーセル： トリオ・ソナタ 第9番 (黄金のソナタ) ヘ長調

ヴィターリ： シャコンヌ (レスピーギ編曲) ト短調



往年の女流  
名ヴァイオリニストによる

演奏を聴く

日時 / 9月8日(日) 13:30~15:30

場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

講演者 / 霜鳥 晃 シリーズ全13回(予定)

参加自由・入場無料

問い合わせ / 04-7184-3771 佐藤 <http://www.aafc.jp/>